



2020-21年度RIテーマ

# ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー 第2780地区

## 寒川ロータリークラブ



事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F  
TEL 0467(73)0046 FAX0467(74)0027  
例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 毎週 月曜日 18:30  
会長 井上晋一 幹事 石腰 亮

会報委員(クラブ管理運営委員会)

山本和好 三澤京子 内野晴雄 菊地良夫 下里宏規 橋本研雄 三留通男

### 第2178回例会 2020年12月7日(月) 晴れ

司会 村松副幹事  
斉唱 君が代、それでこそロータリー  
唱和 4つのテスト  
ソングリーダー 三留クラブ管理運営委員  
3週間前までの例会メイクアップ 中村会員(週報閲覧)

#### 井上会長の時間

今日の会長の時間は、12月に入り忙しく配達する姿がよく見かけられるようになった宅急便のクロネコヤマトを創ったヤマト運輸の元会長小倉昌男さんの話をいたします。小倉さんの講演会を聞く機会があり興味を持ち、その後著書『小倉昌男経営学』を読む事となりました。小倉昌男さん(1924年12月生～2005年6月没)は銀座新RCの会員でした。小倉さんがロータリアンだということを知ったのはつい最近の事です。小口配送サービスを始めた時の苦労話とヤマト運輸の経営の第一線から退かれたあと小倉さんがヤマト福祉財団を作って障害者の自立支援に当たっているというお話でした。ヤマト運輸はもともと関東を中心としたトラック運送をしていました。1979年に創業以来の取引先である三越から運送費の大幅引き下げ・映画チケットの大量購入の要求などがあり、三越に対し取引停止を通告したことがありました。この様子を両社のシンボルマークに引っかけて「ネコがライオンにかみついた」と称して話題になっていたのを自分もよく覚えています。また、宅急便の規制緩和を巡り、旧運輸省・旧郵政省と対立した際も企業のトップとして理不尽な要求に一貫して立ち向かったという事でした。宅急便という今までどこにもなかったサービスが日本には絶対必要だと信じた小倉さんは、「そんな事業うまくいくはずがない」と社員全員が反対するのを押し切ってクロネコヤマトの宅配便事業を始めました。今から35年前、1976年サービス開始の初日の

取り扱い個数はわずか11個だったそうですが、現在は年間12億個以上を取り扱い、私たちの生活に欠かせない、なくてはならない仕組みになっています。クロネコヤマトのサービスは「ダントツのサービス」でなければならないと小倉さんは言うておられました。「ダントツのサービス」とは、お客様に100%の満足を与えること。具体的には、約束した日に預かった荷物をまちがいに傷つけないで配達し、お客様との約束を絶対裏切らないこと、です。小倉さんが宅急便事業を始めるにあたって掲げたスローガンが「サービスが先、利益は後」という言葉です。小倉さんはこのスローガンをクロネコヤマトのセールス・ドライバーに言い続けました。利益は考えなくてよい。利益はダントツサービスの結果である。だから「サービスが先、利益は後」というわけです。ヤマトの絶対目標は「お客様の立場に立って考える良いサービスの実行」でした。小倉さんが言い続けた「サービスが先、利益は後」というのは「サービス」と「利益」の関係を理解しない人からは「きれいごと」と聞こえたかも知れません。しかし、きれいごとでクロネコヤマトは伸びたわけではないことを、私たちはよく知っています。今までどこにもなかったサービス、生活になくてはならないサービスとして世の中から認められたから、クロネコヤマトは成長したのです。私たちロータリアンには「サービスが先、利益は後」という言葉はすぐに腑に落ちます。ロータリーには二つのモットーがあります。“Service above Self”と“He profits most who serves best”の二つです。

#### 出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	前々回修正出席率
30名	30名	27名	90.00%	90.00%
本日欠席者	鈴木(正)会員、椎野会員、島村会員			

“Service above Self”は「超我の奉仕」。日本のロータリーの創始者米山梅吉さんは、これを「サービス第一、自己第二」と訳しました。もう一つの“He profits…”は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と訳されていますが、これも「ベストなサービスをすれば、結果として最大の利益を得る」ということです。小倉さんの「サービスが先、利益は後」という言葉は、この二つのロータリーモットーを凝縮した言葉のように私には感じられ、ロータリアンであった小倉さんならではの言い回しではなかったかと思うのです。

## 理事会報告

### 報告事項

- 1) RIからの緊急提案について…12/10会長幹事会にて内容を確認し、報告。
- 2) 2020-21年度地区補助金追加募集要項について…前年度「町内医療機関・介護施設にゴム手袋とマスク寄贈」事業を実施済みのため当クラブは資格対象外

### 協議事項

- 1) 台北士林RC創立45周年記念式典・台北国際大会:来年1月末にRIの決定が下されるので、その結果を待つて判断。姉妹クラブ調印式:最悪の場合郵送でやり取り。(外務省HPでも12/4現在台湾は観光目的の入境禁止)

### 審議事項

- 1) 年次総会案件:次年度役員理事選出の件…承認
- 2) 11月末締会計決算報告の件…承認
- 3) 三澤会員次年度第4グループガバナー補佐委嘱の件…本日の理事会にて改めて承認。
- 4) 今後のスケジュールの件…急きよ審議。現在のコロナウイルス感染拡大状況は3月の緊急事態宣言時を超えるものであり、会員の健康と安全を第一に考慮し来週12/14から2021.1/25までの例会を休会とする、承認。2月以降の例会については1月下旬に理事会にて判断する。

## 誕生祝



11月分:山本哲会員、12月分:三澤会員・青木京子様・井上悦子様・中野かよ子様・山本一美様

## 幹事報告

### 例会変更

綾瀬春日、藤沢、藤沢北、各RC

### 週報受理

台北士林RC

### その他受理

●ガバナー事務所

～12月のロータリーレート {1ドル=105円} (11月:104円)  
～地区立法案についてのお知らせ {①RIからの緊急提案と反対表明提出の場合の手続きについて ②立法案提出期限:2021.3/15}

～2020-21年度地区補助金追加募集要項 {○2020-21年度実施を取り下げたクラブ優先 ○新型コロナウイルス対応緊急地区補助金および2020-21年度地区補助金を受給したクラブを除く} ※当クラブは資格対象外  
～第42回バギオ訪問交流の旅中止のお知らせ  
～ガバナー事務所勤務体制について {12/7より在宅勤務}

### ●RI日本事務局

～2021年台北国際大会案内資料 {○割引登録料適応期間2021.2/15まで延長 ○対面での開催については2021.1月末のRI理事会にて再検討}  
～勤務体制について {12/1～12/28在宅勤務}

### ●湘南信用金庫

～令和3年「新春の集い」開催中止のお知らせ

### ●寒川町

～令和3年「新春懇談会」開催案内 {21.1/12(火)13:30～14:00 於:町民センター3階}

### ●タウンニュース社

～タウンニュース寒川版12/40号、元旦号名刺広告掲載依頼

## 回覧

○比国育英会バギオ基金2019年度事業報告書

○AMD(Aムダ)マインズマンズリーサポーター支援依頼

○財団室NEWS 2020年12月号

○小谷子どもカフェだより5号

## 委員会報告

クラブ管理運営委委員会 山本和好委員長

例会終了後に1階ロビーにて委員会を行いますので、委員の皆様はご出席をお願いします。

親睦活動委員会 中野委員長

先ほど会長からの理事会報告にもありました通り、来週からの例会が1月いっぱいまで休会となりましたが、せめてご自宅でクリスマス気分を味わっていただこうと、21日に予定しておりましたシクラメンの配布は実施したいと思えます。まだ日程ははっきりしませんが、わかり次第事務局よりご連絡させていただきますので、ご足労ですが事務局まで各自取りに行ってくださいますようお願いいたします。

石腰幹事(寒川神社権宮司)

例年、賀詞交歓会の前に寒川神社にて新年のお参りをいただいておりますが、1月休会に伴い団体としてはご祈禱をしないということになります。お申し込みいただいたお札は新年のご祈禱後事務局にお届けしますので、各自ご都合のよろしい時に取りに行ってくださいますようお願いいたします。日程は改めて事務局よりお知らせいたします。

## 同好会報告

ゴルフ同好会 椎谷会長

12/2寒川RC第248回ゴルフコンペは中村会員が優勝されました。準優勝は中野会員、3位は島村会員でした。その際に村松さんがホールインワンを達成されました。おめでとうございます。来年以降の予定ですが第249回は2/24(水)湘南シーサイドCC、第250回は4/1(木)本厚木CCで行う予定です。

## 2178回スマイルボックス

合計50,000円

### ◎井上会長・石腰幹事

ますますコロナ禍が心配されます。皆様ご自愛願います。本日の例会は年次総会及び上半期活動報告の大事な例会です。どうぞよろしくお願いいたします。

### ◎山本(哲)会員

私は11月に、妻は今月、誕生日を迎えさせていただきました。人生100年時代!ガンバッテ参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

### ◎三澤会員

お誕生祝い、ありがとうございます。前期高齢者を一歩ずつ歩み始めております。元気な高齢者でい続けようと思っております。

### ◎青木会員

皆様こんばんは。妻の誕生祝をいただきありがとうございました。

### ◎井上(稔)会員

女房の誕生祝、ありがとうございました。

### ◎中野会員

本日は妻の誕生日プレゼントをいただき、ありがとうございました。

### ◎村松会員

12/2、寒川RCゴルフコンペにて生涯初めてのホールインワンを達成いたしました。感謝の気持ちを込めてスマイルいたします。

### ◎中村会員

12/2の寒川RC第248回コンペにてメンバーとハンデに恵まれ優勝させていただきました。また、同じ組で回っていた村松一さんのホールインワンの瞬間も見る事ができ、最高にラッキーな一日でした。ありがとうございました。

### ◎秋本、石塚、磯川、入澤、内野、小澤、金子、菊地、清水、下里、鈴木(郁)、高波、橋本、林、山本(和)、若菜、各会員、

## 年次総会

### 1. 今年度高波会長エレクト辞任の件、併せて井上稔新会長エレクト選任の件…承認

### 2. 2021-22年度役員理事

指名委員会(本年度理事・役員)により2021-22年度寒川ロータリークラブ役員理事が、次年度役員理事により次年度の役職が次のように決定しました。

会長:井上 稔会員

幹事:村松 一会員

副会長:中村 光良会員

会長エレクト:石腰 亮会員

AA:磯川 浩会員

会計:清水 功会員

会員増強委員長:石腰 亮会員(会長エレクト兼務)

クラブ管理運営委員長:鈴木 正秋会員

親睦活動委員長:中野 雅之会員

奉仕プロジェクト委員長:井上 晋一会員

国際奉仕委員長:山本 和好会員

オブザーバー・副幹事:小澤 千明会員



## 3. 今年度中間決算報告 清水会計

今日は11月までの今年度中間決算報告をいたします。一般会計:地区・RIへの分担金は予定通り。例会が減っている分支出が少なくなっている。奉仕会計:スマイルの予算100万円に対し、例会が減っている分収入の減額が予測される。姉妹クラブ特別会計・記念事業積立金:それぞれ全会員より集金済み。再来年の50周年記念に向け、年が明けたら概算の予算を立てる予定。(前年度の決算報告は今年度の初めに全会員に配布済み)ご質問のある方は私か事務局までご連絡ください。

## クラブ協議会

### 上期活動報告総括 井上会長

2020-2021年度は新型コロナウイルスの感染拡大が続く状況下で始まりました。これまでの日常を続けることが難しくなり、皆さんも大変なご苦労をされている事と思います。本日の各委員会上期活動報告は、本来であれば各委員長に報告をしていただきたいところですが、ロータリーの活動もこのコロナ禍で例会だけでなく予定していた行事などが次々と中止になるなど大きな影響を受けましたので、会長の私より上期の活動報告をいたします。全体では今年度理事の皆様のご協力によるコロナ禍に於けるオンライン理事会開催や、12月より始まる予定だったZoomによるハイブリット例会の開催。また、例会場のコロナ対策では、参集殿さんのご協力により第4グループの中で一番出来ていると思いますし、第2780地区の中でも一番だと思っています。では、各委員会報告をいたします。**会員増強委員会:**コロナ禍で会員増強は難しいと言う事で、会員維持を目標とお願いしました。また、広報・雑誌・公共イメージ・ロータリー情報ではZoom理事会・Zoom例会の開催に向けての講習会開催と迅速な対応をしていただきました。ガバナー補佐訪問・ガバナー公式訪問もZoomで行う事が出来ました。**クラブ管理運営委員会:**例会でのスムーズな進行に努めていただいております。コロナ禍で毎月の例会内容が変更となる事が多くありましたが、こちらも迅速な対応で11/30の例会では寒川病院鳴海院長に卓話をさせていただく事が出来ました。これからも例会開催にあたり柔軟な対応を宜しく願います。**親睦活動委員会:**7月の直前労会開催後

は、コロナの第2波・第3波により10月の親睦家族移動例会・寒河江RCとの交流会は中止。12月のクリスマス家族例会は委員会で通常例会に、また、1月の新年賀詞交歓会は新年の顔合わせとして寒川神社の方からお正月に因んだお話をいただく予定で進めておりましたが、1月いっぱいの際は休会となりました。委員会内では今後の事業もコロナの状況を見ながら決めるとのこと。なかなか先が見えず難しいところですが宜しく願いいたします。

**奉仕プロジェクト委員会:**産業まつりの中止により、社会奉仕活動を通しての公共イメージアップが難しいところでしたが、11/11にロータリーの泉清掃を行い、通りがかりの皆さんにお声がけいただくなど公共イメージアップに繋げることができました。長期計画の桜の植樹事業では、一之宮緑道の桜の植樹が白紙となり、今後は桜の植樹に代わる長期計画を考えることが必要となりました。寒川町青少年2団体への助成については、自分が少年館とボーイスカウトにお届けしました。

**国際奉仕委員会:**ロータリー財団寄付・米山奨学会寄付は例年通り皆さんにご協力いただきました。ポリオキャンペーンについては、産業まつり中止により行っておりません。また、姉妹クラブとの交流と国際大会参加ですが、理事会報告でお話ししました通り、外務省のHPで台湾は「危険レベル2、不要不急の渡航はやめてください!」とのこと。ギリギリまで決定が難しい状況となっております。国際大会の対面での開催可否の決定はR.3年1月末日となっております。本日の各委員会上期活動報告にあたり、あらためてRIのHPでコロナ対策を確認しました。「国際ロータリーは、地区およびロータリークラブとローターアクトクラブが、会合やイベントをオンラインで行うか、中止または延期とすることを推奨しています。旅行や行事への参加を検討する際には、健康面といった個人的事情も慎重に考慮してください」とありました。今後もコロナは無くなることはなく、毎月、会長・幹事会でもコロナ対策について話がありますが、皆さん頭を悩ませていらっしゃる。これからはwithコロナで「新しい日常」を考えて行かなくてはいけないと思います。ロータリーの基本である「親睦と奉仕」で会員同士の「和」を大事にしながら、皆で喜びを分かち合える活動を「新しい日常」で考えて行きましょう。ボルガー・クナークRI会長は「ロータリーは機会の扉を開く」とテーマを掲げました。まさにwith コロナの中、「新しい日常」「新しいロータリークラブ」を考える機会となりました。年度後半はロータリーの理念のもと「新しいロータリー活動」「新しいロータリーの集い」を皆さんで考えて行きたいと思えます。今後ともご協力をどうぞよろしくお願いいたします。